

11/1 出版社の新しい著作権隣接権を考えるシンポジウム アンケート結果

回答数: 34

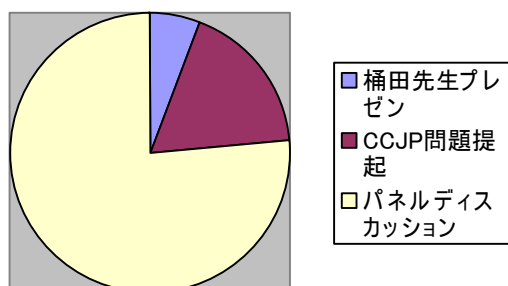
当日参加人数: 98

申し込み人数: 135

回答率(回答者/出席者): 34.7%

1 本日のプログラムの中で、面白かったものは何ですか。よろしければ理由もお教えてください。

- | | |
|----------------|----------|
| 1) 桶田先生のプレゼン | 2 (6%) |
| 2) CCJP 問題提起 | 6 (18%) |
| 3) パネルディスカッション | 26 (76%) |



コメント

聞きたかった本音の部分がやや見えた気がする。

本音も見えたし、本質がどういう部分にあるかも垣間見えた。

桶田先生プレゼンはきれいごとで説明されたことの、より生々しい感じの話聞くことができた。

率直なお話が伺えたように思います。現場に近い立場にいるもので、実際の運用がやはり気になりますから桶田先生のお話と出版社内の人の食い違いは特に刺さる話題です。

真の理由、出版業界の背景事情が良くわかった。

面白かったといえば赤松さんのトークですが、前向きな意見だしとしてはメンバーが揃っていたのにやや残念でした。メンバーが充実していたのもったいない。代替案をたくさん聞きたかった。

議題を適切に整理されていたのがよかった。また、中山先生の整理も大変すばらしかった

各先生方の本音も聞くことができた。三村先生の話が面白かった。新しい問題点の提示がまとまっていた良かった。

議論で問題点がよく理解できた。各先生方のご説明もとてもわかりやすく勉強になりましたが、赤松先生が空気を変えてくださったことで、本音ディスカッションになっていったことでさらに興味深く拝聴できました。全体的にざっくりばらんに話が展開され興味深い。

桶田先生は非常によかった。パネルディスカッション含め。赤松先生が浮いていたなあと。

最初の2つが問題提起になっておらず、テーマも不明確だった

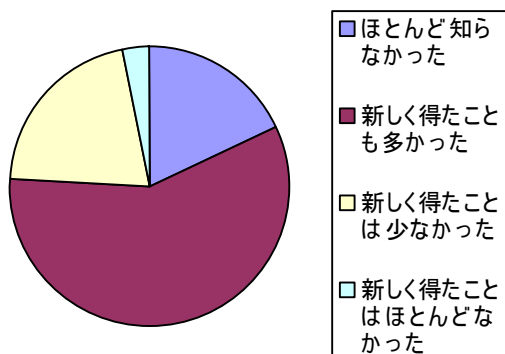
法律論、中川勉強会、赤松先生と個性があっっておもしろかった。もっとひとりひとりの意見を聞かせて

ほしい。

赤松先生の率直な話が参考になった。

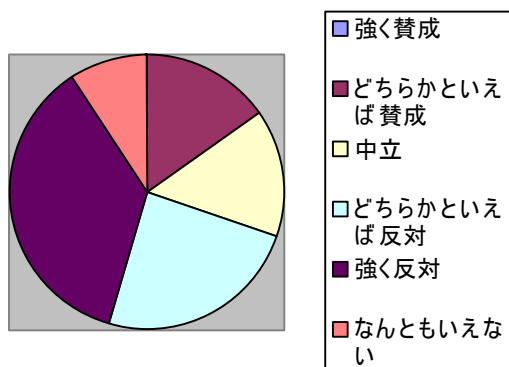
2 出版社にかかる新しい著作権隣接権について、どの程度ご存知でしたか？

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1) ほとんど知らなかった | 6 (18%) |
| 2) シンポジウムの内容から新しく得たことも多かった | 19 (56%) |
| 3) シンポジウムの内容から新しく得たことは少なかった | 7 (20%) |
| 4) シンポジウムの内容から新しく得たことはほとんどなかった | 1 (3%) |
| 無回答 | 1 (3%) |



3 出版社の新しい隣接権について、どのようなご意見をお持ちですか？

- | | |
|-------------------|----------|
| 1) 強く賛成である | 0 (0%) |
| 2) どちらかといえば賛成である | 5 (15%) |
| 3) 中立である | 5 (15%) |
| 4) どちらかといえば反対である | 8 (23%) |
| 5) 強く反対である | 12 (35%) |
| 6) なんともいえない、分からない | 3 (9%) |
| 無回答 | 1 (3%) |



理由、コメントなど：

効果として期待される点と問題点として想定される点を比較すると新たな権利を創設すべきとは考えにくい。

契約整備で対処可能であると感じております。出版社の方々の「認知」という感覚についても、理解を求める努力不足と（厳しく）言ってしまえるのでは。権利付与の影響には釣り合わないでしょう。

出版物は出版者+印刷会社+せ遺作会社の総体固有の技術+知見+資本投下
少なくとも海賊版対策にはならないことは明白

版元に自負させたい。版元の役割を問い直して出版流通を継続させるには必要。

桶田報告が直近の事項まで含まれていたので理解深まった。

問題点が多すぎる。

自助努力なく、お上依存のような気がする（対、権利付与推進者に対して）。著者の立場ですので、やはり不安感が強いです。

ノーコメント

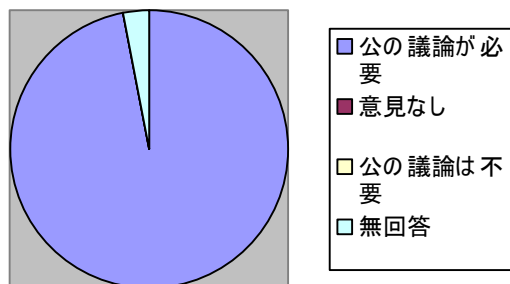
著作物の創造に深く関わるならば、堂々と著作権を要求すべき。
議論が足りないため。
契約ベースの対応が望ましいという立場に賛成です。出版社に現状の能力が不十分だとしても電子書籍時代には、その能力を強化していくべきなのではと思います。

何らかの権利が出版者にあるべきと思う。契約書で行うOR譲渡権etcは理想で現実的に無理。非常に小さな権利に限定されていると思う。

隣接権であれば運用していくことは可能だと思います。

4 出版社の新しい著作権については、公の場での議論が乏しかったため、今回のシンポジウムを開催することにしました。この狙いについてどのようにお考えになりますか？

- | | |
|----------------|----------|
| 1) 公の場での議論は必要だ | 33 (97%) |
| 2) 特に意見はない | 0 (0%) |
| 3) 公の場での議論は不要だ | 0 (0%) |
| 無回答 | 1 (3%) |



理由、コメントなど：

事前に資料、情報が十分に開示され、それに基づいて議論すべき

実をいえば、編集者、印刷所、雑誌、漫画、文芸など個別の媒体のコンテンツ制作工程が明らかになることでより理解が得られるのではと期待しています。

人選とてもよかった(中山先生)。従来、知財の専門家による検討が不十分であったため。テレビ放映してほしい

それは重要だと思います。

法改正にあたっては利害関係人の摺合せ必要。

数年前の70年論争のように、いろいろな問題点が浮かび上がるのではないかと。漫画家の間でも知られていない部分が多いのでこういった議論そのものが知られてほしいです。

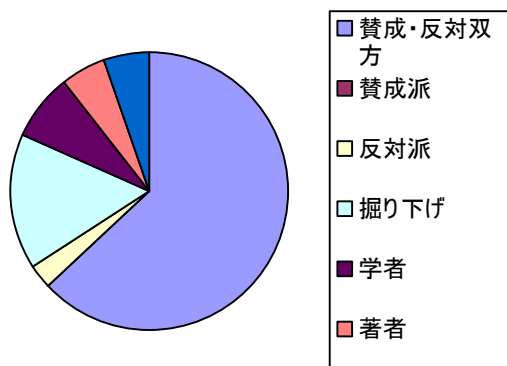
賛成、反対という議論ならやめたほうが良い。せっかくたたき台があったのに価値判断で議論を決めようとするのは不毛だと思います。

もっともっと必要!! 認知の問題は重要だと思いました。

色々な意見が聞けるので。特に代替案などについて

5 本件のシンポジウムの第2回目の実施を検討しています。どのような内容に興味がありますか。(複数回答)

- | | |
|----------------------------------|----------|
| 1) 引き続き、賛成派・反対派を両方呼んで議論するのを聞きたい。 | 24 (63%) |
| 2) 賛成派の意見がもっと聞きたい。 | 0 (0%) |
| 3) 反対派の意見がもっと聞きたい。 | 1 (3%) |
| 4) 特定の論点について掘り下げて議論してほしい。 | 6 (16%) |
| 5) 学者の方の意見・議論が聞きたい。 | 3 (8%) |
| 6) 著者の方の意見・議論が聞きたい。 | 2 (5%) |
| 7) 登壇してほしい人がいる。 | 2 (5%) |



その他意見:

賛成、反対同数にするように。

「流通を促進するのか」について。

出版社の寄与がどの程度なのかについて、一般への理解が浅い気がしています。組版をなさる京極夏彦先生や、編集としての実績がおありの方に、実情と感覚及び権利意識について諮っていただきたいです。

中川正春先生に出てほしい。

法改正以上のアイデアを生み出す話を。

権利付与の理由に出版社の貢献を認知してほしいということだが、いつまでお上依存なのか。法律として決まってしまう前にもっと知っておきたいことがたくさん出てきました。またよろしく願います。

“賛成、反対って言い合いは不毛です。原発見ればわかるでしょ。”

出版者の隣接権について勉強を深めたかったのに賛成・反対に二分しての議論は理解が深められず残念に思います。CCJPの人のまとめが勉強会の法制化まとめと噛み合っていない。この会は反対派のCCJPが賛成の人をたたくための会だったのですか、これは。

代替案についての検討。紹介について。

中川勉強会の国会議員に出てほしい。

法律系の議論について

出版の現場を把握しきれていないパネリストでは議論が難しいと思います。クリエイティブ・コモンズ側から論源整理が行われていたので、それに対し出版社側から考えを述べる場があると良いと思います。それで議論が深まると思いますので。とにかく、デジタル時代で著作権では対応しきれなくなっている現状を考えたいと思います。

6 CCJPに期待する活動や、CCJPのウェブサイトに対するコメント(載せて欲しい情報、使い勝手など)、改善すべき点などがあれば、是非お聞かせください。

設問2について：議論されていることは知っていたがそれ以上は何も知らなかった

モデレータ、進行役・バランスが良く、大変すばらしいと思いました

実施することに価値はあると思うので、次回もぜひ。中身ある議論はほしかった。

作る側のことも、利用する側と同じぐらい大切に扱ってほしい

シンポジウム、大変勉強になりました。今後も期待しています。

メルマガ、興味深く読んでいます。

良い企画をどうもありがとうございました。WEBサイトはこれからじっくり拝見させていただきます。

せっかく法制化まとめ案が出ているのだから、法律的な議論として問題提起してほしい。規制強化に反対の反対派の団体であってほしくない。

以上